

1 更衣期間 なし 気候や自分の体調に合わせる ※儀式的行事の時は、統一した制服にする。(終業式等)

2 制服・頭髪 ※選択制

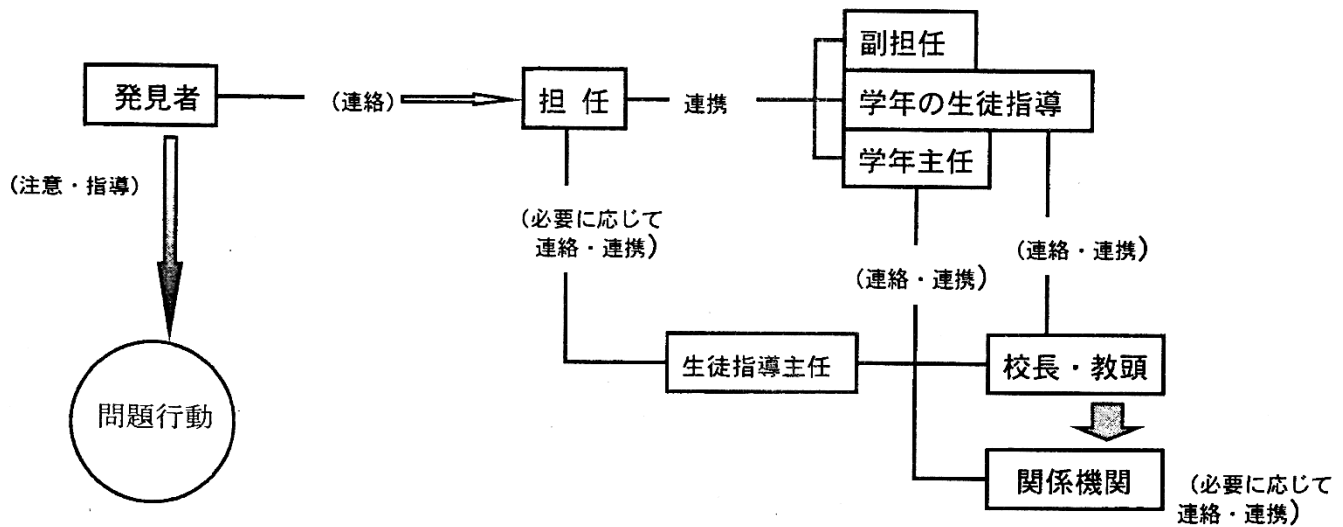
	ズボン型	スカート型
冬服	<u>上 着</u> ・黒詰め襟の標準学生服を着用する。 ・上着の下には、白のカッターシャツを着る。その下には透けない肌着を着る。 <u>ズボン</u>(夏・中間服も同様) ・黒の標準服(ノータック) <u>ボタン</u> ・中学生用ボタン(裏ボタンも標準のものを使用する) <u>ベルト</u> ・黒色のもの	<u>上 着</u> ・学校指定の紺のセーラー服(赤の二本線) <u>スカート</u>(中間服も同様) ・学校指定の紺のジャンパースカート(布製のベルトをつける) ・立て膝で裾が床につく長さ(夏・中間も同様) <u>スカーフ</u> ・学校指定のもの <u>その他</u> ・冬服に合わせて黒タイツを使用してもよい。
夏服	<u>上 着</u> ・白の半袖シャツ(学校指定) ・下着は透けないものとする。	<u>上 着</u> ・学校指定の白のセーラー服 ・学校指定のスカート ・下着は透けないものとする。
中間服	<u>上 着</u> ・白の長袖カッターシャツ(学校指定) ・下着は透けないものとする。	<u>上 着</u> ・白の長袖ブラウス(学校指定のもの) ・下着は透けないものとする。
全期間	<u>ネーム</u> 左胸のポケットのふちにつける。 <u>靴</u> 白一色の紐付き運動靴 <u>上履き</u> 学校指定のものを使用する。 <u>靴下</u> ・くるぶしが完全に隠れる黒か白のスクールソックスを使用する。(ワンポイント可) ・スニーカーソックス、ルーズソックス、ハイソックスは禁止。 <u>その他</u> ・白、黒、紺、茶で首元がVネックのセーター及びニット系のものを着用できる。 ・上着からはみ出すようなものは着用しない。 ・ズボン、スカートの下にジャージをはかない。制服の下には体育服を着用しない。 ※夏休み等も登校する場合は制服・体育服・部活動の服装。 ・制服を着用し、それでも寒い場合はジャージを着る。	
頭髪	男子	女子
	・後髪は襟にかからない。 ・横髪は耳が全部かくれない。	・横や後髪が肩につく場合は切るか耳の上端よりも低い位置で結ぶ。三つ編みは認めるがほどこない。 ・使用するヘアゴム、ヘアピンの色は、黒、紺、茶のみとする。
	男女共通 ・染色、脱色をしない。 ・整髪料は使用しない。 ・パーマ等は認めない。 ・部分的に極端に短くしたり伸ばしたりそり込みを入れたりしない。 ・前髪は目にかからない。 ・身体的な事情で規定にそえない場合は、職員に相談する。 ※(生徒及び保護者からの特別の事情がある場合は職員会で検討のうえ対応する) ・まゆ毛をカミソリ、毛抜き等で細工しない。	

3 厳寒時

- ・手袋・マフラー・ネックウォーマーは、冬服の移行に合わせて、派手でないものを着用して良い。
- ・防寒着は、冬服の移行に合わせて、自転車通学生のみ派手でないウインドブレーカー等を着用しても良い。
- ・これらはすべて生徒玄関ではずし、校舎内では着用しない。
- ・カイロは厳寒期の間のみ使用して良いが、授業中には出さない。使用後は学校で捨てず、家に持ち帰る。

生徒指導共通理解事項（案）

問題行動発生時の対応



※ 教師が確認し、指導した事項については、担任に報告し、問題が深刻化する前に効果的に対応する。

効果

※ 「生徒指導報告書」，「生徒反省用紙」を利用する。

※ 事前に学年部及び校長・教頭・生徒指導部で指導内容を検討する。

※ 生徒・保護者との会を設けた場合の出席者は学年部及び校長を基本とする。ただし、状況に応じて出席者を変更することもありうる。

3 持ち物

- ・ 原則、学校に必要な物を持ってこない。

5 カバン

- ・ 学校指定の黒の校章入りリュック型カバンを使用し、両肩で背負う。
- ・ ストラップは1つのみ。ぬいぐるみ等をつけてはいけない。
- ・ 自転車通学生は、カバンを荷台にくくりつけること。かごには入れない。

【校則検討】

- ・ スリッパ
- ・ 男子の耳が全部隠れない
- ・ 来年度はこういう風にしていきます。